

木村素衛 きむらひ 哲學者、教育學者、文藝博士。明治二十八年二月十

一日石川縣生れ、昭和二十一年二月十一日歿（二八九一—一九六六）。大正十

二年京都帝國大學文學部哲學科選科卒。大谷大學豫科、廣島高等師範
學校各教授等を経て、昭和十五年京都帝大教授。

譯著書、イタヌエル・カント著『一般歴史考 其他』（田中經太郎共譯
高坂正麿）

大正十五年十月、二十日岩波書店）、ナイヒテ著『全知識學の基礎』（其

他）『（譯）昭和八年一月、二十日岩波書店』『新學古典叢書』（可認

識と實在）（昭和八年七月、二十日長野・上小哲學會）、『國民と教養』

（昭和十四年七月十七日弘文堂書房『教養文庫』（、『表現愛』（昭

和十四年九月、二十日岩波書店）、『學生と藝術』（合著・河合榮治郎

編、昭和十五年十一月、二十日日本評論社）、『獨逸觀念論の研究』

（昭和十五年十一月、二十日弘文堂書房）、『美のかたち』（昭和十六

年二月、二十日岩波書店）、『國民教育の根本問題』（昭和十六年十

一月、二十日岩波書店『教學新書』（、『形成的自覺』（昭和十六年十

一月、二十日弘文堂書房）、『草刈籠』（昭和十七年二月、二十日弘文

堂書房）、『新學年鑑』（共編、第一卷昭和十七年版、第二卷昭和十八年二月、二十

日、第三卷昭和十八年版、第四卷十九年一月、二十日大阪・靖文社）、『日本文化

發展のかたち』（昭和）一

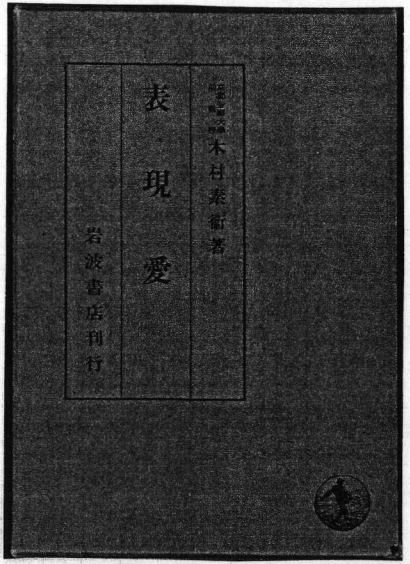
十年十一月、二十日生活社『日本叢

書』（、『國家に於ける文化と教

育』（昭和二十一年一月、二十日岩

波書店）、『隨筆のわがふるさと』

記』（合著・大庭羅繪、昭和二十



一年十一月十五日京都・比叡書房）、隨想集『雪解』（昭和二十一年
二月十日能樂書林）、『表現愛の構造（表現愛新講改題）』（昭和二十
一年十月五日日本學藝社「日本學藝新書」）、『教育學の根本問題』
（昭和二十一年十月十五日愛知・黎明書房「精神科學選書」）、『美
の心づら』（昭和二十一年十一月十日角川書店「哲學選書」）、『花
と死と運命』（昭和二十二年二月二十五日弘文堂書房「アタテネ文庫」）、
演講『恩師への追慕』（上條茂編、昭和二十二年六月十日長野・信
濃教育會出版部）、『教育と人間』（昭和二十二年十一月二十五日弘
文堂）、『紅い實と青い實』（昭和二十四年二月十五日弘文堂「アタテ
ネ文庫」）、『アイヒネ著『全知識學の基礎』全二冊（上卷・昭和二十
四年六月五日、下卷・八月二十五日岩波書店「岩波文庫」）、『ミケル
ダングエロ』（昭和二十五年七月十日弘文堂「アタテネ文庫」）、『魂
の静かなる時』（昭和二十五年七月二十五日弘文堂）、『表現愛と教
育愛』（昭和四十年四月二十日木村素衛先生論文集刊行會、長野・信
濃教育會出版部発売）等。